

明日のハナコ上演計画

劇団血パンダ
団長 仲 悟志

趣旨

福井農林高校演劇部による『明日のハナコ』の上演を無かったことにした福井県高等学校演劇連盟の顧問会議の決定は、福井の高校演劇だけの問題として見過ごすことのできない問題だと考えています。

富山県で演劇活動をする身として、近県で起こったことにも関わらず、同じく演劇活動をしている人にも、この事件を知る人が少ないこと、単に高校演劇の問題と捉える向きも散見されることから、なにはともあれ実際に戯曲を上演することが、表現の自由の侵害に対してのストレートな抗議になると考えて、『明日のハナコ』上演を計画します。

この試みによって、実際に上演すること自体が、問題を共有する機会として機能し、多くの演劇活動をする皆さんに、改めて呼応をよびかけることができると考えるものです。

記

日程 2022年2月26日（土）、27日（日）
※両日各2ステージ程度を予定
会場 富山県射水市本町3丁目4-13 内川Studio
定員 各回30名
料金 カンパ制

概要

劇団血パンダの他に、富山県内で活動する劇団、びーめんぷろじえくとと劇団宇宙ボウズ、フリーで活動する森田翠さんの協力を得て、劇団血パンダ団長の仲の演出による、バージョンの異なる2パターンの『明日のハナコ』を上演します。

パターン1

出演 結城 まゆみ（びーめんぷろじえくと）
野崎 志野（劇団宇宙ボウズ）

パターン2

出演 二上 満
金澤 一彦
長澤 泰子
森田 翠（フリー）

演出 仲 悟志

上演に際して集まったカンパについては、改めて『明日のハナコ』上演実行委員会に全額カンパします。

他、受付に置く段ボールハナコの制作など、公演に際して準拠する部分を踏襲します。

劇団血パンダについて

2012年の旗揚げから、団長である仲の戯曲を上演。

主に、現代口語劇に分類される、一見日常的で、演技をしているのかどうか分からない様子の演劇を上演する。

リアルで日常に見える演劇ならば、劇場という「専用の空間」も、だたの制限になるのではないかという考察から、主に空き店舗や飲食店などを利用して上演活動を行う。

2019年射水市に内川Studioを開設、稽古場として利用する他、コロナ下の状況を利用して、小規模な公演を実行する。

仲悟志略歴

1970年富山県氷見市生。

1995年、大阪芸術大学在学中に劇団を結成。劇作と演出を担当する。

大阪、東京など多方面で上演活動を展開。

映画監督柴田剛の長編『おそいひと』の企画と原作を担当。

2011年、富山短編映画祭の開催にあたり、短編映画制作の依頼を受けたことをきっかけに『劇団血パンダ』を結成。

以後、氷見市の商店街全体を舞台にした市街劇『ねずみくずし』を皮切りに、富山県内各地の空き店舗や飲食店を利用して公演活動を行う。

この資料についてのお問い合わせ先

935-0056

富山県氷見市上田1143

仲 悟志

080-4252-6873

snaka@pantacle.net

以上